



令和4年度大阪府立狭山池博物館ミニ展示

# 「家」での暮らし

令和5年2月1日 水 ~ 3月21日 火 祝

大阪府立狭山池博物館1階常設展示室第5ゾーン

令和5年2月14日(火)~2月19日(日)メンテナンスのため臨時休館 毎週月曜日休館



# 「家」での暮らし

## 主な展示品

「家」は人間活動の拠点であり、生活するうえで欠かせない基盤です。そのため住居やそこからの出土遺物は当時の人々の暮らしを考える上で重要な手がかりとなります。

大阪府内ではこれまで発掘調査で数多くの集落、住居跡が発見されてきました。

本展示では旧石器時代から古墳時代を中心に大阪府内の「家」と出土した資料をもとに暮らしの変化や様相に迫っていきます。



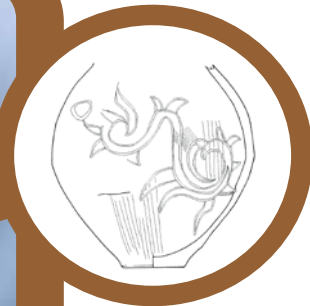
淡輪遺跡出土 縄文土器（左）耳栓（右）



扉の復元品（左）



編んだへぎ板の復元品（右）



八尾南遺跡 龍を描いた弥生土器

会期 令和5年2月1日（水）

～3月21日（火・祝）

会場 大阪府立狭山池博物館 1階常設展示室第5ゾーン

開館時間 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 毎週月曜日（令和5年2月14日～19日は臨時休館）

入館料 無料

主催 大阪府教育委員会・公益財団法人大阪府文化財センター・大阪府立弥生文化博物館・大阪府立近つ飛鳥博物館・大阪府立狭山池博物館



公式ホームページ



公式SNS



■アクセス図

